

各位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
 アドバンス・ロジスティクス投資法人
 代表者名 執行役員 東海林 淳一
 (コード番号 3493)

資産運用会社名
 伊藤忠リート・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役社長 東海林 淳一
 問合せ先 執行役員 物流事業本部長 木村 知之
 TEL:0120-300-780

サステナビリティに係る目標・KPIの設定について

アドバンス・ロジスティクス投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）は、2022年9月に、サステナビリティ推進において優先的に解決すべき重要課題（マテリアリティ）の解決の実効性を高めるため、特定した10個全てのマテリアリティに対する目標・KPIの設定を行いましたので、お知らせいたします。

記

1.マテリアリティに対する目標・KPIについて

本投資法人は、E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）の各項目において、計10個のマテリアリティを特定しています。これらのマテリアリティ解決の実効性を高めるために、2022年9月に、E・S・G全ての項目に対して目標及びKPIを定めました。

また、従来設定していた環境パフォーマンス（CO2排出量、エネルギー消費量、廃棄物排出量、水消費量）に係る目標については、より長期的な目線で取り組みを推進すべく、従来の短期目標を廃止し、下表の通り、2030年度を目標年度に再設定を行いました。本投資法人は、これらの目標に取り組みながら、中長期的成長の実現を図るとともに、持続可能な社会、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【環境パフォーマンスに係る目標】

項目	目標・KPI
CO2排出量（GHG）	Scope1-3 2030年度迄：原単位10%削減（2020年度対比） Scope3においては、GHG全体の削減に向けた、対応カテゴリの把握および範囲確定・算定
エネルギー消費量	2030年度迄：原単位10%削減（2020年度対比）
水消費量	2030年度迄：原単位で増加させない（2020年度対比）
廃棄物排出量	2030年度迄：原単位で増加させない（2020年度対比）

マテリアリティおよび目標・KPIの詳細につきましては以下ホームページをご覧ください。

アドバンス・ロジスティクス投資法人 サステナビリティへの取組方針：<https://www.adl-reit.com/ja/sustainability/>

2. 本投資法人及び資産運用会社の今後の取組み

本投資法人及び資産運用会社である伊藤忠リート・マネジメント株式会社は、中・長期的な資産価値の

維持・向上のためには、環境配慮、地域社会への貢献及びテナント満足度の向上等を中心としたサステナビリティに関する取組みが重要であると認識しています。今後につきましても、それら取組みを推進することにより、投資主価値の更なる向上を図る方針です。

本投資法人および資産運用会社のサステナビリティに関する取組内容詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

本投資法人 : <https://www.adl-reit.com/ja/sustainability/>

資産運用会社 : <https://www.itc-rm.co.jp/sustain/>

以上

アドバンス・ロジスティクス投資法人とは

伊藤忠グループの資産運用会社「伊藤忠リート・マネジメント株式会社」が運用する物流特化型Jリートです。スポンサーである伊藤忠グループとの「拡張的協働関係」に基づき、「安定的」な運用、成長を目指してまいります。

※「アドバンス」は、伊藤忠リート・マネジメント株式会社が運用する不動産投資法人の共通ブランドネームです。

本投資法人のホームページアドレス : <https://www.adl-reit.com/>

資産運用会社のホームページアドレス : <https://www.itc-rm.co.jp/>